

会窓同工会

会報'98

1

嶺は秀づる磐梯山

水は湛ふる猪苗代

これぞ乾坤秀霊の

精気鑢り成る處

2

明治三十七春なかば

礎堅くきずかれて

星霜ここに幾かへり

平和の覇者を育みぬ

3

身には白虎の粹を享け

鶴を徽章に雄々しくも

至誠勤労一すじに

進む健児の意気高し

4

峙つ嶺は嶮しくも

寄せくる波は高くとも

これ奮闘の活舞臺

これぞ我等の天地なる

校歌・大正十一年制定

帽章帽帯の基本型も校友会
発足の、この年に決まる。



母校百年の歩みへの誇りと。新世紀への期待と。平9同窓会-意気盛んなり

秋もすでになかばを過ぎ、今年は本格的な夏を向かえないまま山々の紅葉の季節に入ってまいりました。同窓会会員の皆様も益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

今年も後輩達は学習、スポーツ両面で大変な活躍を見せてくれております。特に全国高校野球選手権福島県大会において実に四十四年ぶりのベスト4と見事な成績をおさめたことは記憶に新しいと思います。全国同窓生の皆様も大いに興奮したことと思います。

さていよいよ母校創立百周年も四年後にせまりました。

明治三十五年に福島県立工業学校として設立認可を受けて開校し、以来、福島県立会津工業学校、そして現在の福島県立会津工業高等学校と名称を改めながら発展してまいりました。この長い間、地域の方々に支えられ多くの優秀な人材を輩出し、工業技術者をはじめとして、多くの分野で活躍されていることは誠に心強く御同慶に堪えない次第であります。



**創立百周年へ
向けて**
同窓会長 吉田 一栄

本年一月三十一日に多くの同窓生の皆様、PTAの皆様、先生方のご協力のもと「創立百周年記念事業実行委員会」が組織され、記念事業成功に向けていよいよ動きだしました。これにより記念事業、記念行事の内容、予算等がより具体化され各部各係において作業がすすめられていくところです。

同窓会館建設をはじめとする他の記念事業の実現のためには多くの困難が予想されますが、同窓生の皆様をはじめとする多くの方々のあたたかい御支援をいただいて進めて行きたいと思っております。

新世紀を迎え、母校の益々の発展のためこの記念事業は新しい活力となり、大きな可能性を生み出すことを信じ、皆様と共に一層の努力をしていきたい所存であります。

最後に同窓会会員皆様の御多幸、御発展を祈念し挨拶にかえさせていただきます。

同窓会総会



新世紀のしるべを刻む。平成九年度同窓会総会/11・15ホテルニューパレス

平成10年同窓会事業報告

■創立100周年関係

- ▶平成 9年
- 11月15日 創立100周年記念事業実行委員会発足
 - 12月20日 創立100周年準備委員会 …合計9回開催
- ▶平成10年
- 1月31日 創立100周年記念事業実行委員 ……第1回会議
 - 3月28日 資金部・学校の打ち合わせ
 - 5月 1日 会工高校内実行委員会 ……第1回開催
 - 5月18日 PTA・同窓会・学校合同会議
 - 5月29日 資金部会開催
 - 資金部の方針決定 ……44名出席
 - 6月 3日 会工高校内実行委員会 ……第2回開催
 - 6月17日 会工高校内実行委員会 ……第3回開催
 - 7月16日 会工高創立百周年職員係委嘱
 - 9月 2日 会工高校内実行委員会 ……第4回開催

■同窓会関係

- ▶平成 9年
- 11月15日 平成9年度会工同窓会総会………若松/ホテルニューパレス
 - ▽前半に若松会工総会を行う
 - ▽同窓会報 第22号発行
 - 12月10日 体育文化振興会への助成
- ▶平成10年
- 10月31日 会津会工会新年会………於・若松 77名出席
 - 2月27日 会工高同窓会入会式……吉田会長他6名出席
 - ▽入 会………355人
 - 2月27日 建友会総会………梅津副会長他1名出席
 - 3月 1日 会工高卒業式………吉田会長他5名出席
 - 会工卒業祝賀会………吉田会長他5名出席
 - 3月27日 会工職員クラブ送別会……手代木幹事長出席
 - 4月 8日 会工高入学式………吉田会長他4名出席
 - 4月24日 会工高職員クラブ歓迎会……手代木幹事長出席
 - 5月23日 郡山会工総会………吉田会長他3名出席
 - 6月 7日 東海会工総会………手代木幹事長他2名出席
 - 6月27日 東京会工総会………吉田会長他3名出席
 - ▽故井上元会長に感謝状、記念品贈呈
 - 6月28日 近畿会工総会………吉田会長他2名出席
 - 7月24日 若松会工幹事会………事務局出席
 - 8月21日 南体育館に校歌表示板設置
 - 9月 6日 三菱伸銅(株)会工総会………梅津副会長他2名出席
 - 9月10日 坂下会工総会………手代木幹事長他2名出席
 - 10月 2日 電友会総会………吉田会長他4名出席
 - 10月22日 猪苗代会工総会………梅津副会長他2名出席
 - 10月31日 平成10年度会工同窓会総会



▲第1回 創立100周年記念事業実行委員会/平10・1・31母校視聴覚室



会工二十一世紀のコミュニケーション

学校長 郡司正孝

平成十年度会工同窓会総会が、求心力抜群の吉田会長さんのもとに盛大に開催されますこと、心よりお祝いを申し上げます。

また、会員の皆様のご活躍と日頃本校に寄せられる暖かいご支援に対し敬意と感謝を申し上げます。

平成十年度、素晴らしい個性と素質を持った三百六十名の新入生を迎え、生徒総数千六百七十七名、教職員百数十名の陣容を整え力強くスタートをいたしました。

本校の伝統とそれを支えるPTAや同窓会、意欲に満ちた教職員、そして何よりも青年らしく率直で希望に溢れた生徒諸君の姿は大きな魅力であります。

平成十四年に創立百周年を迎える会津工業高校は新たな変革と飛躍が期待されております。

以下は二十一世紀へ向けて、私見の一端をコミュニケーションいたしました。

「高校改革と学科の改編」

平成十五年、十六年頃には、会高、会女、若女は男女共学化し、また会津二高も独立分離するなど会工にとっても少なからず影響を受けることは明らかである。

県内工業高校のリーダー的役割を担うべき会工は、現在の八学科九学級を発展的に改編縮小する。建築デザイン系、情報電気系、電子機械系、セラミック

化学系の四つの系列で六学級(または七学級)程度として、定員はこれまでの三百六十名から二百四十名程度にする。その中で系ごとに、より専門的な学習が展開できるようにコース制を導入する。

大雑把な構想を例にすると、建築デザイン系1学級2コース(建築設計コース、インテリアデザインコース) 電力情報系2学級3コース(電力制御コース、電子制御コース、情報技術コース) 電子機械系2学級3コース(電子機械コース、機械コース、環境システムコース) セラミック化学系1学科2コース(セラミックコース、環境化学コース)とする。

なお、一学級程度の増減は常に可能である。勿論、これらは今後多くの関係者による充分な議論や検討が必要であることは言うまでもない。

「学校五日制の対応」

平成十四年より学校五日制が導入される。

会工の目指す方向として、これからは、より創造的な学習を重視し、発明や発見に至る学習や課題研究・総合学習など問題解決型学習を通じ、将来ベンチャー企業などを設立する起業家を育成するような方向に視点を置くべきである。

例えば、いわゆる机に向かつて学習する授業は午前中だけとする。午後は各パートごとに実習を中心としたロボット製作などの造りや課題研究に取り

組む。

一方スポーツに専念するものは午後は部活動に精を出す。勿論ボランティア活動も大切な領域である。学校は午後の3時まで拘束しそれぞれの課題をこなす。

学校での活動は最大でも午後6時までに限定すること。ゆとりを確保するためである。

一方、毎週土曜日、日曜日は原則として学校の行事としての部活動や学習活動は行わない。家庭や地域での生活や触れ合いを大事にする。

また、希望により、それぞれの地域のスポーツクラブや文化クラブ・ボランティアクラブ等に所属して活動することもできる。各種対外試合の形態もこれまでとは全く異なる発想の転換が求められる。

教職員は学校内ばかりでなく、地域においても市民の一人として指導的な役割を果たすことが期待されていく。

以上、大変僥倖なお話を申し上げましたが、二十一世紀の会工を語る糸口にして頂ければ幸甚であります。

会員の皆様のご健勝を祈念申し上げご挨拶と致します。

同窓会発祥の地
「東京」の貴重な
実践に、いま再
び学びあおう。

東京会工会の 現状

会長 赤津仲雄

我が校は明治三十五年創立と
いう輝かしい歴史を持つ学校で



ある。常に時代の先鞭を担い、
多くの有能な人材を世に送り、
社会に大きく貢献している事は
みんなが周知している所である。
一般社会では、超近代化を生
む、急速に総ての分野、文化経
済環境の変化を伴うものでもあ
った。

機械力の発展と通信交通の発
達は、住環境を変へ、田園風景
を変へた。地域格差のなくなっ
た今、ふるさと意識も強くなる
のは当然であろう。

いま、東京会工会では（他支
部も同じかと）まず次の代の、
会員掘起しに懸命である。

四〇〜五〇代の人達に連絡す
れど自他共に急がしい頃、寧ろ
迷惑がられている始末。六〇代
の人達も、今では最就職が、な
んらかの仕事に携わっており、
会工会どころではない。

思案投首の体ではあるが、三
年前より会工会だよりを一五〇
〇部程刷り、無差別に出してみ
た。そして会費も戴く事にして
みた。これが結構うまくいき、
三五〇名程の方々が毎年会費を

若松会工会の 再興を！

会長 梅津正夫

ご存知のとおり会津工業高校
の同窓会は、全体の同窓会組織
と、各地方に支部単位での同窓
会組織があり、今日まで各地域
での活動を通して発展してきて
おります。

また卒業科の同窓会である建
友会・電友会も大きく発展され
ており、これらの様子は本会報
等でも紹介され、ともに嬉しく
感ずるところであります。

東京会工学会、東海会工学会、
近畿会工学会はもとより、福島県
内には福島市を中心とする福島
会工会、郡山市を中心とする郡
納入してくれている。会には参
加してないものの、音信はと
れているのである。今後共苦し
くても続けていく積りである。

会運営の方は役員会、総会、
芋煮会、新年会等を、定期にす

山会工会、地元会津地域には坂
下、湯川、西会津、猪苗代にそ
れぞれ会工会が存在し、そして
会津若松市には若松会工会があ
ります。

若松会工会の設立は、昭和二
十八年六月六日ですが、その後
昭和四十四年ごろまでの活動以
来、会津全体の会津会工会の動
きとともに市内在住の同窓生の
活動が減り、まさに灯台下暗し
の感がありました。全国の諸兄
からご心配と激励の声をいただ
いております。

県内一の歴史を誇り、百周年
を迎えるのが母校会津工業高校。
市内の同窓生も五千名を超えよ
うとしております。

平成八年十月に若松会工会が
再設立でき、この二年間、一丸
となって組織の確立に努めてま
る事にしたので、会員も、世話
をする方も月日が定まった為、
楽になった。

六月二十七日土曜日には、上
野精養軒に於いて総会を催した。
会津若松や近畿会からの参加と

いました。ようやく市内十四
地域（行仁・鶴城・謹教・町
北・高野・神指・門田・城北・
日新・城西・東山・一箕・大
戸・湊）に支部を結成し、役員
諸兄のご努力で始動を開始でき
たところでございます。

今後、若い世代が陸続と連な
る若松会工会です。二世代、三
世代の同窓生も可能な地域でも
あります。

混沌とした世相に対し、会員
相互の親睦融和を図って、支え
合い、発展できる組織にしてま
いりたいと考えております。

どうか若松会工会会員の皆様、
賛同とともに力強いご協力を衷
心よりお願い申し上げます。



学校長始め、関係職員の方々の
参加も得、無事終了した。会員
の方は、未曾有の、不景気の折
から若干参加者が少なかったが、
仕方ない所と思われる。それ
でも、会津若松から鈴木民謡連
を呼び会の締に会津盆踊りを披

REPORT & MESSAGE



同窓の絆いまでも固し、あっぱれ東京会！

露したのは好評であった。

十月十八日日曜日には、多摩
川畔に於いて、大芋煮会を行
います。既に参加者の連絡も入っ
ております。

会津の里芋と味噌、強清水の
ニシンの天婦羅、饅頭の天婦羅、
そして会津の酒と、完璧な品揃
いの中、老若男女、大いに秋空
に向けて騒ぎ出す風景は又スト
レス発散にも、最高の行事とい
えよう。

傍わらを走る小田急電車の
人々も、窓に連なって、何事か
と観る程なのである。

お互い満足している頃、ピン

ゴゲームが始る、景品は、身近
な家庭用品ばかりだが、私も欲
しい、みんな懸命である。

各地方の会への参加、本校に
於ける行事への参加と、やはり
急がしくはある。

最後はやはり百周年の事にな
る。私共現在どうして良いのか
分からないでいるが、会ある度
にPRをしていく積りである。
いつから寄付集めになるのか分
からないが、数度に分けるのも
方法かと思われる。

いづれ百周年が、無事に終る
事が出来る様、願って止まない
現在である。

地域づくりに欠かせぬ「建築」の個 性と魅力。その多彩な活力を、母 校「百周年」の起爆剤として期待！

我が建友会の 道のり

会長 手代木利夫

今年度総会に第四十九回卒業
生を迎え、平成十年二月二十八
日、来賓、賛助会員、会員約二
六〇名出席し東山温泉東風にお
いて盛大に開催されました。



総会には、学校関係と建設関
係、行政と各設計各団体、会議
所、地元建設会社と建築専門会
社、代議士、市長さんも毎年参
加され全員との親睦を深めてお
ります。

今年度は、役員改選もありま
した。

構成は次の通りです。

▼会長

手代木利夫（第5回卒）

▼副会長

佐久間芳雄（第9回卒）

石原 章男（第10回卒）

小山 源昭（第15回卒）

▼事務局長

山岸 清（第18回卒）

▼副事務局長

村井 博昭（第20回卒）

▼会計

河野 政行（第20回卒）

▼副会計

佐野 則夫（第21回卒）

▼幹事

弓田 義秋（第13回卒）

東條 巧（第28回卒）

▼顧問

前会長 青山 昭一

各回卒業生代表幹事

総会を開催する前に幹事会で
運営と行事を決定することにな
っております。

来年は第五十回卒業生が入会
します。これだけの総会を毎年
開催出来るのも今迄の積み重さ
ねがあるからと思います。

先輩方のその努力が後輩に引
き継がれ賛助会員と会員の繋が
りの中で運営が出来るのも出席
者の多い最大の理由です。

我々はこの実績を引継ぎ先輩
の方々が残した足跡を汚さず大
切にして運営を行ないます。

質実剛健

電友会

《百歳に挑戦して》

会長 真田賢祐

来年第五十回卒を迎え、母校にあつては平成十四年度創立百周年となり、我が建友会も親会である同窓会記念事業に協力をし、同窓会館建設には建友会の力を最大に生かし協力をして行きたいと思ひます。

現在は内外共に大変な時期で不況のなか、会員一同力を出し合い、不況の一角を崩すことも出来る力があると思う。

少しでも世の中が明るくなる様にして行き、今後も建友会の会員相互の結びつきを更に深め、建築技術者として会員それぞれの地域において活躍して参ります。今後とも建友会をよろしく願ひします。

「む？む？これは珍奇なりポート」とビックリしましたが、継続したら貴重な史料になるぞ！と感動しました。要必読！

近畿会工会

《雑感》

～平成十年度の世相～

副会長 大島武二

一月▼箱根駅伝、神奈川大総合二連覇▼道路公団理事汚職摘発▼赤

早、創立四周年を迎えました。多くの問題を抱えながらの旅立ちでした。

三千人余りの電気科卒業生の内一〇％に満たない現状です。全会員の参加を呼びかける努力不足もありますが、三年間での師弟での恩恵の認識の不足が生活に忙殺されて自分本位なの

か、「三年間の学舎での生活が暗い」ものなのか、自分に与えられた教育への底辺に対して今なにが出来たのかの原点を観察して欲しいものです。知識や文明文化を後世に引き継ぐ仕事の中に先輩としての心なのです。直接に還元が出来なければ生れた処に視点を置き、情報を的確に収集する事が大切になります。

日常生活環境の複雑化している現在、大命に背を向けないで同志仲良く健康で「百歳」まで挑戦したいものです。この事が本会の大きな目標です。

今や超高齢者社会に突入して、男性では七七・一九歳・女性で

八三・八二歳を示して九七年生れの子供が八十歳以上に生き延びる事になります。

九七年簡易生命表が厚生省より発表された。試算すれば山間僻地では四〇％を超える処もあり、全世界の長寿国でも年金や保険や医療制度等にひずみが生れ健康で労働可能な人口三人から四人で老人一人を面倒見る事になります。会社の第一線を退職して「健康管理」を夢見て「ゲートボール」や運動だけが高齢者の鏡ではない、老人施設の少ない福島県では入居率で一〇数％と満たないので、老人が老人を支援し介護する事が当分

続きます。自分は健康で社会の皆様にはお世話に成らないと豪語する人になりたくないものです。貴男の体力や気力に余裕ある間に支援の手を求めている隣人や人々を救済しては如何ですか。人類を愛する心、共に豊かな生活する努力が小さくて善いものです。皆んなで考えて見ましょう。

まもなく「創立百周年」を迎えます。一大慶事です。人生の多くの経験で記念行事が出来る事は長寿の賜です。母校発展のため、後輩の育成強化のためにも色々提案が有りますので、是非万難を排してご支援ご協力の手をお願い致します。

最後に成りました。同窓生諸兄弟のご健康と益々のご隆盛あらん事をお祈りします。

テナ内から男女二の中国人逮捕▼インド・パキスタン核実験、核保有国を宣言▼橋本内閣不支持五％▼厚生省歯科医師年三百人削減。六月▼サッカーW杯へ応援団三万五千人▼石油公団総裁、損失一兆円で更迭▼中国共産党関係正常化で合意▼夏の甲子園、手袋解禁で特需。七月▼九州南部梅雨明け▼クロール牛誕生▼エルニーニョからラニーニャ(海面温度下る)▼参院選、自民党惨敗、民主、共産躍進▼橋本内閣総辞職、小淵内閣誕生▼国民医療費、最高の二

八兆五〇〇億円▼県予選会津工業、安積を三対二で破り準決勝へ進出▼準決勝で日大東北に四対一で敗れ、甲子園の道断たれる。八月▼小淵内閣支持三二％▼中国の長江四四年ぶりの大洪水、死者四千人▼衆院の旧社会会員の労組出身者十年間で五分の一▼韓国、日本文化解除へ▼福島県南部、栃木県北部豪雨、土砂崩れ被害大▼北朝鮮のミサイル「テポドン」試験三陸東方に着弾。九月▼防衛庁幹部背任で四人逮捕▼巨人長嶋監督任期一年延びる。

短いメッセージですが、うれし涙がこみ上げました「猪苗代さん」。連帯の意を新たにしましょう。



猪苗代会工会

会長 寺崎敏風

会津工業高等学校同窓会の皆様には、益々活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、今年の夏は高校野球県大会において会工健児が頑張る、いよいよ『甲子園に出場か』と

いう期待をもつて観戦していた方が、大勢いらつしやつたのではないかと思います。テレビに写ったOBを見て、『ああ、あの人も同窓生だったのか』と、連帯意識を新たにすると共に、会員発掘にも努力が必要だと痛感しています。

野球だけでなく、ほかの部の後輩たちの活躍も新聞等で報じられ、二十一世紀を担う、健児たちにエールを送りたいと思います。

本校においては、同窓会館の建設、記念誌の編纂など、創立一〇〇周年事業の取組で同窓会もいろいろな面で大変だと思ひます。

猪苗代会工会においても、微力ながら事業の円滑な執行のため、ご協力申し上げますので、今後ともご指導のほどよろしく、お願い申し上げます。

最後になりましたが、常日頃のご指導に感謝申し上げますと共に、本校の発展と事務局のスタッフ及び同窓会の皆様方のご活躍、ご健勝をお祈り申し上げます。まして、ご挨拶といたします。

平成十年九月十日、第二十回

会津坂下会工会

近況報告します。

会長 大堀順一

平成十年九月十日、第二十回

Photo Mail 写真便り

我が国初の工業都市郡山のOB群像は、今も語り尽きない。平10・5・23郡山総会

郡山会工会

東海会工会

世界に冠たる工業立国の礎として、東海・関西に勇躍する先輩群像。その「箱根越え」の伝統の意気こそ、今も健在である。平10・6・7東海総会

東海会工会

目の坂下会工会総会を開催いたしました所、学校長はじめ同窓会より多数の参加を頂き厚く御礼申し上げますと共に、毎年総会を続けて来られたのも先輩方の努力に感謝。また、十月二日には友校同窓会(若商・会高)汽車通仲間三高ソフトボール大会も十四年目となります。懇親会

坂下

親善ソフトボール大会。この日は、会津工業と、会津大学との対戦が行われ、会津工業が勝利した。この大会は、両校の友好関係を深めるための行事として行われている。

坂下

福島民報の会津版「地区だより」の記事から転載。

文武両道

も盛大となります。五月のゴルフコンペも毎年行つてます。

我が母校の三大恩人の一人である松江春次氏(両親は坂下町出身とのこと)の銅像のあるサイパン島砂糖王公園は、アメリカ自治領北マリアナ連邦の要請により、日本航空香取神宮(元サイパン神社)が在サイパン日本人会等心より大変手厚く保護されているとの事です。

坂下会工会一同も近年中に、行く予定です。

最後に、会工会健児の活躍を期待します。

福島会工会

《会工》
惜しかった

会長 星 武 (27 E卒)
幹事 星 秀明 (40 E卒)

なかなか梅雨明けの来ない今年の福島の夏は、OBを含む会工生にとって特に熱かった。

七月二十五日、準決勝で甲子

園を目指す四校が福島市の県営あづま球場で激突。奇しくも県立対私立、工業高校対普通高校という構図となり、その一角を会津工業高校が。

私立の二校は、どちらも甲子園経験が何回かの強豪で、対する県立工業高校2校はいずれも初体験。この対決には会工関係者ばかりでなく、会津地方全域の期待を一身に集めていたに違

学窓追憶

持参で駆け付けてもらった。

結果は皆さんご存じのとおり。

一時は甲子園に片手が…というところまでいったのだが最後には、三年連続甲子園出場を目指す相手チームの貫禄にのまれてしまったのかもしれない。

このチームが私立校同志の決勝でもう一つの強豪校を破り、見事に三連覇を成し遂げたのは

「奮えや会工の健男児！」母校旋風の熱い夏に、差し入れをありがとう「福島」のみなさま。

REPORT&MESSAGE

2002年創立百周年記念事業を成功させよう——公募による校内標語

同窓会総会に寄せて 教頭 佐藤輝夫

雨にたたられた今年の夏は、猛暑という日は一日もなかったのではないだろうか。追い打ちをかけた八月末の大雨は会津では差程ではありましたが、他所における被害は大変なものでした。一日も早く現地の方々が平常の生活ができることを願わずにはおられません。

さて、会工同窓会総会が今年も盛大に開催されますこと同慶の至りであります。私は今年度の人事異動により本校に赴任したわけですが、あらためて本校同窓会の力強さを感じております。赴任早々東海地区会工会に出席しまして、三十名程の同窓会の方々にお会いし、いろいろとお話を伺い、その思いを強くしたのであります。会津を離れたこの遠隔の地に、同窓会支部の存在と活動を知り、本校の伝統の息遣いを思わずにはおられませんでした。

さて、平成十四年に迎える創立百周年であります。昨年の総会で決定された行事や事業の実現と成功にむけて、実行委員会を四月以来四回開催し、教職員並びに生徒の意識の高揚と喚起につとめているところであります。

創立百周年記念の事業や行事が成功裏に終わる為には、同窓会が中心になること

はもとよりですが、他の協力もおおがなければなりません。

わけでも、PTAの協力につきましては今年度の各地区PTA総会におきまして保護者の方々に協力を訴えてまいりました。近々臨時のPTA総会を開催し、協力と賛同を得ることになっております。

ただ今、学校においては管理棟の外壁工事が行われており、平成十一、十二年には内部改修工事が待ち受けていて学校は本当に気忙しい状況下にあります。

しかし、生徒達はそれにもめげず学習は勿論、部活動においては野球部の四十四年ぶりの準決勝進出、全国大会における新体操、陸上、バドミントン、自転車等の活躍、その他の部においても県大会上位入賞の活躍があります。また、資格取得等における生徒達の意欲ある取組等あらゆる分野での活動は頼もしい限りであります。

そんな中、百周年にむけての標語を大きく掲げようということで校内の応募作品の中から厳選の上位のように決定しました。「2002年、創立百周年記念事業を成功させよう」これを校舎の最も適切な場所に掲げて、お互いの意識を高め成功への力強い一歩としようということでありました。

そして、同窓会総会の盛会をご祈念申し上げます。

主任等

- ▼第一学年 五十嵐 進 ▼第二学年 小澤常輝 ▼第三学年 笠井英雄
- ▼インテリア科 風間真一 ▼セラミック科 斎藤四志男 ▼化学工学科 鈴木長九郎 ▼機械科 十二所宗紀
- ▼電気科 佐藤春樹 ▼電子科 浅和勝利 ▼情報技術科 東條 憲 ▼建築科 渡部泰博
- ▼教務部 山田忠明 ▼生徒指導部 猪俣 薫 ▼進路指導部 山口栄一 ▼保健部 佐藤善久 ▼図書部 湯田 厚
- ▼施設部 赤城武臣 ▼視聴覚部 片平喜美代

◎創立／明治三十五年 ◎クラス数／二八 ◎生徒数／一〇七一 ◎教職員数／二二〇 ◎同窓会員数／二二六六九

進路指導の役割

進路指導

主事 山口栄一

職業教育を主眼にしてきた本校において、生徒の価値感や進路希望状況も年々変化しており、それに対してどう対処すべきかを検討し、新たな実践を重ねて今年で三年目を迎えました。

特に「人間としての在り方生き方」を追求した進路指導の必要性が叫ばれ、その重要性が徐々に理解されてきた。しかし実際の教育現場では、依然として出口指導で汲々として、そのことも事実であります。それを改善すべく進路指導

の充実のため、さらに生徒の当初の進路希望を少しでも多く実現すべく、また会津地区の実業校の役割を果たすべく、全校一丸となって努力しているところである。

さて本年度の進路指導部の基本方針は次のとおりです。
1、進路指導の企業立案
2、担任・科への支援
3、情報提供
4、事務手続き

進路指導は教科指導とともに、高校での教育活動での重要なひとつです。しかし若干副次的とみなされる傾向にあることも事実であります。それは「進路指導は進路指導部が行うもの」と思っているごとく、全てを任せているのも事実です。そのことから、進路室に

行けば「何かあるだろう」「何かあるに違いない」という感覚を持ってももらえるような雰囲気作り而努力しているつもりです。

また企画立案については、過去三年間新たな事業（昨年の同窓会報にて報告）を導入し、その成果を修めてきました。それらをさらに効果あるように改善しつつ展開しています。

それらの他、外部講師による公務員の特別補習、進学講話（日本工業大学・湘南工科大学）の実施、小論文添削指導の導入、専門学校体験入学の実施、会津大学の個人別特別補習のための数学問題集の印刷製本、学力を定着させ、対外的競争力を高めることにも自分の実力を判断できるように「外部学力テスト」を

学校全体として導入、など生徒の進路希望の多様化に対応すべく、多くの試みを実施しておるところであります。

高校における進路指導は、多感な青年期における最も重要な教育であると信じています。「生徒が自らの手で、自らの行動を選択し、決定できる能力の確立」を目標にし、自主的に判断し実践できるような手助けをするため援助したいと考えます。

さて、九月二十四日現在、

- ◎求人企業数 四八二社
- ▼地元……………五七社
- ▼県内……………三二社
- ▼県外……………二九四社

である。これは過去最低であった平成八年度の六九三社と

比べても大幅減です。その中でも地元企業の低迷は遺憾ともしがたい事実です。（昨年は百一十六社より求人）児童の少子化は全国的とはいえず、会津においては特に激しいようです。

一〇年後には現在より二十名強の児童が減少するそうです。それは地元経済界の低迷による、地元企業への就職の受け皿のなさに関連は大きいでしょう。

上級学校進学者も卒業後地元に戻れないし、会津大学の卒業生も殆んど外部に出てしまふのも事実です。

地元の活性化のためにも、若人が残るよう「地元企業の発展」と「町作り環境作り」を期待します。

本日迄、就職試験の合格者四六名、不合格者一八名の連

■主任 風間眞一

*

インテリア科

*

学び舎 ロケーション——①専門過程は、いま。

特に資格取得

*

■主任 十二所宗紀

多様化を重視し、セカンドラ

1

■主任 斎藤四志男

さてセラミック類

*

た。セラミックス

■主任 鈴木長九郎

昨年度は、南

兄の報告といふこと

三
豆
餅

す。

のご臨席を仰ぎ、さ

るところであります、その

進路状況について

就載景內

▼進学4

目的を達成させ

*

1

第六回全国高等学校ロボット競技大会（福岡県）福島県予選が九月八日郡山北工業高等学校で開催され、本科より三機のロボットが出場しました。また、ロボット相撲東北大会（九月二〇日・秋田県立横手工業高等学校）には、自立部門に二機参加しました。制作を担当した生徒（三年生一三名）は、夏期休業を返上し、意欲的に制作に打ち込み、それぞれのマシンは、個性あふれる創意工夫に富む力作でありました。惜しくも対戦成績は、マシントラブル等もあり、よい結果をだすことができませんでした。生徒自身が受動的学習から抜け出し、自主的・自立的に学習したこと、機械工作等メカニカルな異なる専門分野への関心と理解が得られたこと、チャレンジ精神を身につけることができたことを等大きな収穫がありました。来年こそは全国制覇を成し遂げたいものです。

建築科

り会津大学へ推薦二名、私大への特別推薦二名、私大への特別推薦三名が校内選考で決定しております。来年も朗報をお知らせできまうように頑張らせたいと思います。

本年七月二十九日に公表された教育課程審議会答申では、小学校より各学校段階から一貫した情報化に対応できる教育を系統的に行われるよう、さらに関係教科等の改善充実を図ることとし、特に高等学校については、普通教育としての教科「情報」を設け必修とするとしています。

即ち、今後全ての高校生が「情報」に関連する何らかの科目を履修しなければならぬこととなります。

このような時代背景にあつて、専門教育としての「情報技術教育」はどうあるべきか十分検討し、新しい展望を見出すべく模索する時期にきていると思われまふ。先輩諸兄の忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

さて、本年三月卒業の状況は卒業生三十九名が、最終的に全員進路が決まりました。同窓生の社会での活躍が後輩にとって進路に良い結果をだしております。

就職者……………二四名
県内……………一五名
県外……………六名
公務員……………三名

今年度の生徒達へご支援頂きありがとうございます。本年度も教員の移動もなく継続的な教育活動を行っております。

この中で、三年担任は本校卒業生の菅家慶広先生、二年生は内藤隆朗先生、一年生は佐野正司先生で、建築科の三クラスの学級経営にあたっております。昨年三年担任でありました本田弘一先生は田島高校へ転勤となりました。

本校内での生徒の活動について、触れておきます。一昨年より始めました、校外での建築科作品展も生徒に理解され、自分達の日頃の成果と地域社会の人達に見ていただくことへの気持ちが前面にできるようになり、良い作品の展示会が行われました。

《会工本郷分校小史》
明治二八 村立の本郷工業学校設立、生徒数六〇。寮元が百余年あった。
明治二九 国庫補助対象全一校に選ばれる。
明治三〇 若松に県立工業学校開校。染色・漆工ともに三母体の一つとなる。
明治三二 定時制夜間の会津第二高等学校開設。
昭和一八 会津第二高等学校増設。
昭和二六 会津第二高等学校増設。
昭和四二 会津第二高等学校増設。
昭和四三 会津第二高等学校増設。
昭和四四 会津第二高等学校増設。
昭和四五 会津第二高等学校増設。
昭和四六 会津第二高等学校増設。
昭和四七 会津第二高等学校増設。
昭和四八 会津第二高等学校増設。
昭和四九 会津第二高等学校増設。
昭和五〇 会津第二高等学校増設。
昭和五一 会津第二高等学校増設。
昭和五二 会津第二高等学校増設。
昭和五三 会津第二高等学校増設。
昭和五四 会津第二高等学校増設。
昭和五五 会津第二高等学校増設。
昭和五六 会津第二高等学校増設。
昭和五七 会津第二高等学校増設。
昭和五八 会津第二高等学校増設。
昭和五九 会津第二高等学校増設。
昭和六〇 会津第二高等学校増設。
昭和六一 会津第二高等学校増設。
昭和六二 会津第二高等学校増設。
昭和六三 会津第二高等学校増設。
昭和六四 会津第二高等学校増設。
昭和六五 会津第二高等学校増設。
昭和六六 会津第二高等学校増設。
昭和六七 会津第二高等学校増設。
昭和六八 会津第二高等学校増設。
昭和六九 会津第二高等学校増設。
昭和七〇 会津第二高等学校増設。
昭和七一 会津第二高等学校増設。
昭和七二 会津第二高等学校増設。
昭和七三 会津第二高等学校増設。
昭和七四 会津第二高等学校増設。
昭和七五 会津第二高等学校増設。
昭和七六 会津第二高等学校増設。
昭和七七 会津第二高等学校増設。
昭和七八 会津第二高等学校増設。
昭和七九 会津第二高等学校増設。
昭和八〇 会津第二高等学校増設。
昭和八一 会津第二高等学校増設。
昭和八二 会津第二高等学校増設。
昭和八三 会津第二高等学校増設。
昭和八四 会津第二高等学校増設。
昭和八五 会津第二高等学校増設。
昭和八六 会津第二高等学校増設。
昭和八七 会津第二高等学校増設。
昭和八八 会津第二高等学校増設。
昭和八九 会津第二高等学校増設。
昭和九〇 会津第二高等学校増設。
昭和九一 会津第二高等学校増設。
昭和九二 会津第二高等学校増設。
昭和九三 会津第二高等学校増設。
昭和九四 会津第二高等学校増設。
昭和九五 会津第二高等学校増設。
昭和九六 会津第二高等学校増設。
昭和九七 会津第二高等学校増設。
昭和九八 会津第二高等学校増設。
昭和九九 会津第二高等学校増設。
昭和一〇〇 会津第二高等学校増設。

奮るえんや会工の健男児

CLUB&CIRCLE NOW

学び舎 ロケーション——2 クラブ活動は、いま。

生徒会

顧問

馬場 勇作
高久 礼子

会長

松本 善法
佐藤 清冬

本年度の生徒会役員は、昨年度の役員が多く残っているため、例年になく、仕事がスムーズに進んでいます。今年は会工祭もなく、仕事内容はそんなに忙しくありません。ただ厳しい財政難の中、各部、各委員会の予算編成には大部苦労しました。しかし、会員諸君の理解を得て、生徒会総会では異議一つなく、全会一致で議事を終了することができました。

また日常の活動として会報の発行を継続しています。加えて生徒会執行部の司会、進行を生徒会執行部で行うことになりました。初めは何をしていいのかわからずとまどっていた後輩たちも今ではすっかり板につき、迷うことなくスムーズに進行できるようになりました。生徒会執行部の方で司会をすることにより、生徒会活動の活性化につながれば幸いです。

吹奏楽委員会

顧問

片平喜美代
田村 裕之

部長

吉川 久雄
栗林 正人

毎日朝早くから、また授業終了直後から楽器の音を響かせている私達吹奏楽部は、現在三九名で活動しています。これまで会津地区及び県の発表会、野球応援、吹奏楽コンクールに参加してきました。

今年は特に、基本となるサウンド作りを力を入れ、毎日こつこつと練習を重ねてコンクールに臨みました。地区大会では納得のいく結果をあげ



ることはできませんでした。が、県大会への出場権を得ました。県大会までの間に野球応援があり、なかなか思うような練習はできまんでしたが、野球部の活躍を目の当りにし、大きな刺激となりました。県大会では地区大会の反省と練習の成果があらわれたように思います。

現在、一二月の第一八回定期演奏会とアンサンブル・コンテストに向けて練習しています。反省すべき点、改善すべき点など多くの課題がありますが、あせらずに取り組みんでいきたいと思っています。

空手部

顧問

村田 光夫
額田 憲一

主将

星 健治

また、日ごろからお世話になっているたくさんの方々の期待に応えられるよう、さらに充実した活動をしていきたいと思っています。

昨先輩が引退してから、自分達二年生で部を引っぱってきました。流石に、自分達だけで部を成り立たせるのは本当に困難でした。他の部のようないくつ上の先輩がいなかったらうまくいきませんが、気合いの入らない日が多々ありました。だけど、そんな自分達もこの伝統ある空手部の一員です。先輩方の伝統に泥をぬらないよう、そして、強くなるように、日々練習に励んでいます。

今回の県大会、県総体では破れはしたものの精一杯やれた事で自分達の自信につながりました。もちろんこれだけで満足し

弓道部

顧問

新妻 孝
白井 まや

主将

岡崎 幸樹

我々弓道部は、二年生六人一年生一〇人で、運営しています。最近の成績は、▼地区インター一〇数年ぶりに優勝しました。しかし県インターでは、予選通過することでもできず、県の壁の厚さを思い知らされてしまいました。そこで目標を決めることに

なりました。その目標とは、全国大会で、勝てるチームにということで夏休み中は一生懸命がんばってきました。そのおかげで、最近個人的な力が少しずつ上がりはじめてきたと思います。まだまだ集中力が欠けていると思います。普段あまり集中できていないので、どうしても大会での緊張や、プレッシャーに負けてしまいがちなのも外してしまいたいです。

このように悪いところもありますが、いいところもあります。目標を決めたことで、部活が終わっても残って体力づくりをしたり、自分の射をよくするように努力したりしています。



このようにいるるな面がある弓道部ですが、これからは良い所はのび、悪い所は直し一射一射をもっと大切に、一射絶命するような気持ちで練習を続けたいと思います。



バスケットボール部

一年生六名と数は少ないのですが、全員やる気十分です。総体終了後は、三年生が引退し、その穴を埋めようと、遅くまで練習に励みましたが、そのかいあってか新人戦では、昨年同様の活躍をする事が出来ました。

▼新人大会地区予選

▽団体戦 優勝

▽個人戦

◎シングルス

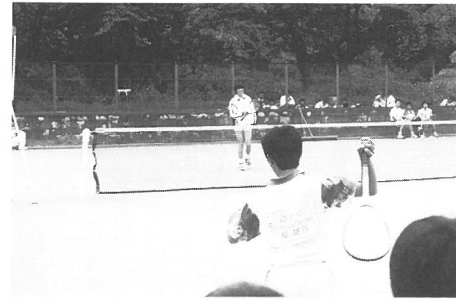
優勝 三位

◎ダブルス

優勝 三位

という結果をおさめる事が出来ました。

県大会でも上位入賞を目指し頑張ってくるつもりです。諸先輩方の応援を宜しくお願い申し上げます。



また、ご存知の通り学校敷地内にテニスコートが無く、部員の負担で各コートを借り歩いて現在の現状です。この件につきましてもお力をお貸し頂き、是非ご配慮のほどをお願い申し上げます。

顧問 三原 敏男
菊地 寿雄
主将 木村 吉寛

私たちは「走るチーム」を目標に頑張ってきました。

三年生がぬけてすぐに▼会津総合体育大会がありました。決勝では会津高校との接戦を制し一点差で優勝することができました。

▼県総合体育大会ではチーム一丸となって頑張り、第三位というすばらしい成績を獲得することができました。

三人の三年生が入ったチームでしたが、今までになくチームワークのよいチームに成長していた結果だったと思います。

県大会の後、本当の私たちのチームづくりがスタートしました。「走るチーム」を私達の目標にしました。

夏休み中、足腰を鍛えるため走ることを中心に練習を重ねてきました。県大会で良い成績だったのでもういっそうから試合の誘いがきました。

私達が誘われて最初に行つた八月二十四日に白石市で行われた白石フェスティバルです。

この大会ではチームがばらばらで自分たちがやりたいことをなにしてほしいまま、終わってしまいました。しかし、負けて得たものは多かったと思います。まず走

野球部

制覇することも目標に頑張っています。

顧問

栗城 一郎

村山 彰一

大塚 久泰

渡部 巧

高橋 信仁

主将

現在、我々野球部は、二年生一八名一年生一七名マネー



写真は福島民友／1998・7・22付「会工、シード聖光破る」の記事から転載。緒戦対福島明成8-0 2回戦対長沼4-1 3回戦対聖光6-1 4回戦(準決勝)対日大東北1-4で惜敗。*日大東北が優勝、会工は甲子園まであと一歩でした。

奮るえや、会工の健男児。百周年には甲子園をめざそう！



という目標プラス「デイフェンス強化」という目標を立てることができたことです。この二つを目標に毎日練習に励みました。

バドミントン部

顧問 大堀 均

主将 伊藤 潤

ここまでの結果報告から振り返って見ます。

今年度は三年生が主軸となり、予選を勝ち抜き、すべてのビックイベント(▼全日本ジュニア、▼全国選抜、▼全国インターハイ)への出場を

ジャニー一名で毎日練習しています。

今年の夏の大会は、シード校の聖光学院、安積高校に勝利し四年ぶりにベスト4に名乗りを上げ、向かえた準決勝、熱戦の末、日大東北に敗れ涙をのみました。

三〇度をこす暑さの中、主体だった三年生が抜け新チームになって、特にすごい選手や際立つ選手がいらないこのチームに、監督の「ヒットのしやすい方法」や「勝つための方法」などの指導で、部員同士で教えあい、注意しながら教えられた事を意識してやってきました。

そして迎えた▼会津地区大会。一、二回戦は、勝ったものの納得できる試合ではありませんでした。そして三回戦、うっ憤をはらすべく会津高校に快勝し決勝の相手は、会津農林になりました。決勝戦は、逆転に次ぐ逆転で延長十二回の末サヨナラで敗れてしまいました。でも敗れはしたものの学ぶ物は多く全員の顔に、この悔しさを県大会ではもうという気持ちにがにじみでて



下級生達にとって、大きな財産になったことは間違いありません。さて新チームとなった現在ですが、伊藤主将を中心に、厳しい雰囲気のもと、一日一日を大切に練習に励んでいます。また、三年生が毎日指導にあたり、スパリリングを務めるなど、新人戦に向い万全な体制をとっています。

バレーボール部

顧問 古畑 一男

主将 清水 裕智

部員一丸となり、まじめに練習に取り組み、一日一日を大切にがんばっているバレーボール部です。

大きな大きな目標に向かい激戦を勝ち抜くには、技術ばかりではなく、気力・体力の必要性がやとわかってきたように、練習に取組む姿勢に真剣さが増してきています。

今一つ壁を乗り越えられない結果ですが、県大会での活躍を目指し、一丸となり努力しています。

鈴木武キャプテンを中心に2年8人、1年8人、マネージャー4人と今年から清水先生を迎えがなっています。

地区新人一位、県大会ベスト8、FTV杯出場。今年度の地区大会、会津総体選手権大会は一位でしたが、県大会では力不足でした。これから新人戦に向け練習に励みます。

ボクシング部

顧問 富樫 実

主将 北林誠一郎

小沼 太

ボクシング部は富樫先生と北林誠一郎先生のご指導のもと、二年生四名、一年生六名の計一〇名で毎日厳しい練習をしています。

活動する上で一番の問題点は用具が不足しているということ。練習用のグローブが少なく、しかもいつ破けるかもしれない貧弱なグローブがほとんどなので、我が部の抱えるハードパンチャー達によって使用不可能になる前に買いそろえたいのですが、安いと思われがちなグローブは、実は二万円以上もするもので、財源では一年分の部費をもつても二・三個を買い手が限度であり、その他のヘットガードやミットなどの欲しい物には手が届かない状況です。ですから必然的に道具を大切に扱うことを学びました。

ところで、ボクシングというスポーツは見た目は簡単そうですが、実際にやってみると

〇僕は、この部活に入ってから間に十六連射できるようになりました。

〇アチキハコブハイッタ。トモタノシロカッタ。(故人)入部して人生が九〇度回転し、何かが目ざめた気がする。

部員のみなさんのありがたいお言葉でした。

この様に美術部では、何かうごめいています。ウゴウゴルガ、パタパタママ、と言う事でウミウシを食べる。

つまり美術部は、OBとも交流があり、日本全国に強力なネットワークでおそろしい。そして美術部とはこうゆう部です。これからは美術部の願って、カンパイ！

〇今年の春の発表会では「罪人達ノ鎮魂歌」等しき死と祈りをもつて」という題のオリジナル脚本での劇を上演しました。

演劇部

顧問 渡部 亮

主将 五十嵐賢之

反省として台詞をおぼえる時間を惜しんで衣装に凝ってしまい、上演中幾度となく沈黙の時間が生じたことがあげられます。その時の気まずい雰囲気を感じます。

秋のコンクールでは春を反



お世話になりました、みなさま。

■転出者

小林 憲一
柳 橋 幸生
江 花 光泰
古 河 憲治
遠 山 武彦
吉 田 孝男
金 子 健一
佐 藤 容子
佐々木 修
本 田 一弘
近 藤 正俊
阿 部 秀幸
佐々木 建治
遠 藤 喜人
中 丸 淳
矢 口 義徳
渡 邊 修
稲 田 盛夫
山 本 清三
半 野 幸雄
渡 部 珠代
岡 崎 典男
田 中 利栄

(分校関係)

小笠原三郎
田 村 浩之
斎 藤 慶和
一ノ瀬 圭
脇本三名子

●転出先

教頭 退職
教頭 双葉翔陽高校長
教諭 退職
教諭 退職
教諭 退職
教諭 喜多方工高
教諭 会工本郷分校
教諭 田島高
教諭 大沼高
教諭 田島高
教諭 安達東高
教諭 磐城農高
実教 喜多方工高
実教 喜多方工高
実講 喜多方工高
実助 福島工高
実助 喜多方工高
常講 退職
常講 退職
時講 退職
時講 退職
事務次長 県北農林事務所
主査 会津総合病院

●前任校

教頭 あさか開成高(定)
教頭 福島工高(定)
教諭 大沼高
教諭 田島高
教諭 清陵情報高
教諭 喜多方工高
教諭 大沼高
教諭 いわき光洋高(定)
実教 喜多方工高
実教 喜多方工高
実教 喜多方工高
実助 新採用
実助 新採用
実助 新採用
常講 新採用
常講 新採用
常講 新採用
常講 新採用
非講 新採用
時講 新採用
事務次長 労政課
主事 新採用

■転入者

佐 藤 輝夫
関 根 敬次
片 平 喜美代
馬 場 勇作
渡 辺 清見
鳴 瀬 良
白 井 まや
佐 野 正司
猪 俣 昭衛
佐 藤 信仁
吉 川 久雄
清 水 裕智
佐 藤 貴裕
額 田 憲一
江 花 光泰
田 村 浩之
稲 田 盛夫
嘉 山 由美子
山 本 清三
半 野 幸雄
酒 井 浩信
央 戸 秀信

(分校関係)

金 子 健一
一ノ瀬 圭
堀 金 由香
外 島 恵

教諭 会工高
常講 新採用
常講 新採用
時講 新採用

社会部

■顧問 東瀬 紘一
■部長 田村 裕之
小林 崇

本校の社会部は、部員数五
六名の目立たない存在だが
質的にはレベルの高い研究を
していると自負している。

省材料として、身体からに
み出るほど台詞を覚えて、意
識した効果ある間を作り出し
て行きたいと思っています。結果
として、県大会に行ければと
思います。

昨年の▼会工祭は、自然災
害―活断層に注目して、◎会
津の自然災害の年表を作り、
また◎会津の地名―小字名の
中にその痕跡が残っていない
かと考え、本校の特性をいか
して、会津地方の全小字名を
コンピュータに入力して分
類・整理した。

これは専門家も誰も行つて
はおらず、本校社会部が初め
て行った研究でありました。
その研究成果は、会津若松
市教育委員会に応募していま
すが審査の結果を待っています。

部員は▼夏休みには、青森
の三内丸山縄文遺跡を始め、
新潟の糸魚川の構造線、岐阜
の坂下町の活断層等の見学、
研修旅行をおこなった。また、
会津盆地西縁部の活断層をへ
りコブタから空撮し、その
写真と慶長大地震の際につら
れた山崎湖などの模型図を展

コンピュータ 同好会

■顧問 石山 晶一
■部長 山田 忠明

示しました。
この四月から、次の会工祭
へ向けての研究テーマを検討
して行きました。この夏休みの
研修旅行―会津一周―で、初
瀬川記念館・大内宿・奥会津
歴史民俗資料館・高郷村の化
石博物館などを見学しました。
その結果、次の研究テーマ
を「山村の人々の暮らしと歴史」
に決めました。社会部は、夏
休みの楽しい研修旅行もあり
ますので、帰宅部の人達の入
部を待っています。

■会長 樋山 将
我々コンピュータ同好会は
一年生八名、二年生一三名、
三年生一九名、合計四〇人と
いう大勢の会員で構成されて
います。
本年度の活動内容は、ロボ
ットコンテストへの参加や、
CG、マルチメディア、第二
種情報処理などの資格の取得、
インターネットの利用などで
す。
▼ロボットコンテストでは
マシンにトラブルが発生し、
決勝トーナメントに進むこと
はできなくてくやしい思いを
しましたが、資格の面では勉
強の成果があり、福島県初の
高校生CG検定2級合格を始め
多くの会員が取得しました。
春に行われた▼第二種情報
処理技術者試験も合格者は出
ませんでしたが、皆あと一歩
という所までせまってきたお

JRC 同好会

■顧問 松本 靖弘
■会長 高久 礼子
藤巻 伸一

私たちの同好会のメンバ
ーは二二名で活動しています。

り、秋の試験では合格者が出
る様に二年生、三年生ともに
努力してほしいものです。
来年度の課題は、ロボット
コンテストなどの各種大会で
上位を目指し、より多くの資
格取得者を増やすことです。
そして、県内有数の生徒に
開かれたシステムを、より有
効に活用して「部」に昇格し
て欲しいと思います。

一年を通し▼使用済みレ
ホンカードの回収、古切手、
書き損じはがきの回収を行っ
ています。また、年に二回校
内献血並びに呼びかけをして
います。
▼募金活動では、緑の羽根
共同募金や赤い羽根共同募金
の二つを主に行っていました。
校外活動としては、▼会津
地区の高校一〇校と交流をは
かりながら、夏合宿をしたり、
街頭募金・献血の呼びかけな
どを一緒にを行っています。

よろしくお願いします、みなさま。

